

平成24年度第2回流山市入札監視委員会 会議録

1 日 時

平成25年2月5日(火)午後2時30分

2 場 所

流山市役所第2庁舎4階 401会議室

3 出席委員

倉橋 透 委員長 中 神 啓四郎 委員
菅生 泰久 委員

4 欠席委員

な し

5 出席事務局

古川財産活用課長 大竹課長補佐 深津契約係長
鈴木主任主事 古林主事

6 工事担当課

下水道建設課 嶋田次長・近藤副主査
高齢者生きがい推進課 河原次長
建築住宅課 小瀧課長・根本課長補佐・安蒜室長

7 審議事項

- (1) 委員長の互選について
- (2) 抽出事案の審議について
- (3) 入札及び契約手続の運用状況等の報告
- (4) 次回審議事案の抽出について
- (5) その他

8 協議状況

開 会 午後2時30分

閉 会 午後 4 時 1 0 分

〔 委員長挨拶 〕

協議事項

(1) 委員長の互選について

委員改選後初めての委員会であることから、委員長の互選を行い、倉橋委員が委員長に推薦され、異議なく了承された。

(2) 抽出事案の審議について

ア 第 4 汚水枝線工事 (E 4 - 4 0 1)

〔 担当課工事概要説明 〕

〔 事 務 局 説 明 〕

倉橋委員長

本工事における加算点は工事成績により大きく左右されると思われるが、工事成績はどのような点が評価されるのか。

古川課長

工事の出来だけでなく、書類の整理・提出状況も評価の対象となる。

過去 2 年間の同工種の工事成績の平均が評価点となる。

これまでは工事成績による加算点は 1 0 点満点であったが、千葉県の総合評価一般競争入札の有識者からの意見聴取会において、工事成績をより重視した方がよい旨意見を受けたため、当年度より最高点を引き上げ、1 2 点満点とした。

中神委員

加算点は 3 0 点満点であるが、これは各社自己採点できるか。

古川課長

まず工事成績については各社に通知している。その他の加算点がある項目についても、案件毎に参加申請の際加算の要件を満たすことを証明する書類の添付を求めていることから、加算点を各社把握可能である。

菅生委員

大栄総建(株)の辞退理由は何か。

古川課長

辞退理由は把握していない。

倉橋委員長

質疑についてはどのようなものが出るのか。

古川課長

施工方法や工事の材料等、様々である。本工事では質疑はなかった。

中神委員

工期は平成25年3月25日までであるが、現在の進捗状況はどうか。

近藤副主査

本工事については中間検査を1回行い、特に問題はなかった。現在工事は完了し、残りは書類等の整理・提出のみとなっている。

イ 老人福祉センター新築工事（建築工事）

〔担当課工事概要説明〕

〔事務局説明〕

中神委員

本工事は建物の建築のみか。

古川課長

建築のみである。

中神委員

6社中4社参加したということだが、6社とも参加要件を満たすか。

古川課長
満たす。

菅生委員
なぜ電気工事、設備工事と分離発注を行ったのか。

古川課長
分離発注は受注機会確保のために行っている。発注にあたっては市内業者で施工可能か、或いは分離する工事の設計金額が500万円以上か、といった基準があり、それによって判断している。他に小中学校耐震工事についても同様の発注方法を採用した事例がある。

菅生委員
入札参加要件として、等級格付でAランクを要求しているが、これはなぜか。

古川課長
工事の設計金額により発注する業者のランクについて予め基準が定められており、本工事ではAランク相当の業者が該当するからである。

倉橋委員長
以前の建物と今建築している建物の広さは違うのか。

河原次長
以前の建物は増築を繰り返しており、およそ800㎡ほどである。今建築している建物は本館で約590㎡、今後建築を予定している別館は約390㎡なので、新しい建物の方が合計面積では若干広くなる予定である。

倉橋委員長
老人福祉センターは市内でここ1箇所のみか。

河原次長

1箇所のみである。

倉橋委員長

利用率はどうか。

河原次長

平日は100人/日だが、イベント時はもっと多い。また風呂については別に100人/日ほどの利用がある。

倉橋委員長

なぜ本館と別館を分けて建築するのか。

河原次長

本館が建設されるまでは、現在の建物を利用できるようにするためである。本館が建設された後、現在の建物を解体し別館を建てる予定である。

倉橋委員長

敷地は市有地か。

河原次長

そのとおりである。近隣地についても市有地であり、プールや公園等がある。

倉橋委員長

隣に森の図書館があるが、これとの合築はできなかったのか。

古川課長

森の図書館は平成に入って建てられたもので、それほど老朽化していないことから合築は検討していなかった。

中神委員

工期は210日間であるが、進捗はどうか。

河原次長

震災の復興需要の影響を受け、作業員の手配が難しかった時期や、鉄骨等の材料の不足により手配が遅れた時期があったことから、全体としては若干遅れ気味である。ただ、年度内には完成できる予定である。

ウ 市営住宅平方団地屋根改修工事

〔担当課工事概要説明〕

〔事務局説明〕

中神委員

本工事の前に12棟について応急措置を行っているとのことだが、この業者はどのように選定したのか。

小瀧課長

当初、台風により屋根が飛んだ際、後片付けを3社に発注した。このうち1社が建築工事の部門をもっていたため、同社に発注した。

倉橋委員長

現在インフラの老朽化が全国的に問題になっているが、定期的な点検等は行っていたのか。

小瀧課長

屋根については行っていなかった。

倉橋委員長

他の市営住宅について、定期的な点検や補修は行うのか。

小瀧課長

平方団地と同じ構造の住宅は他に2箇所の市営住宅があるが、他の市営住宅については、トタンの屋根はない。

菅生委員

今回7社から見積をとっているが、これはどのように選んだのか。またその中からどのように業者を選定したのか。

古川課長

見積をとったのは、当工事の設計金額を基準に照らし、市内の建築一式でA・Bランクの業者と、補修を行った実績ある会社含め7社とした。その中で見積金額の一番安い(株)三枝と契約した。

(3) 入札及び契約手続の運用状況等の報告

〔事務局説明〕

倉橋委員長

落札率は総合評価方式の入札とそうでない入札ではあまり変わらないのか。

深津係長

総合評価方式は工事の品質確保を目的としているところではあるが、今回は通常の一般競争入札と結果的にあまり落札率は変わらなかった。これはまだ総合評価方式を取り入れてから日が浅いことも理由の一つである。

ただ、総合評価方式の入札15件中3件(後で4件に訂正)で入札金額が最も安くはないものの、評価点が最も高い業者が落札するという逆転が起こった。今後も工事成績等の加算点を上げて入札してくる業者が増えてくると思われる。そうすれば総合評価方式の入札の落札率も上がるのではないかと。

古川課長

工事全体では昨年度と比較して、落札率は1%ほど上がっている。

倉橋委員長

災害用井戸設置工事(2)については指名競争入札を行う前に一般競争入札を行ったものの1社しか参加がなかったとのことだが、これはどこか。

深津係長

落札者の浅野さく泉管工(株)である。同社は当市の水道局でもさく井工事を受注した実績がある。

中神委員

逆転があった入札はどの案件か。

深津係長

運河駅東口ふれあいモール整備工事、第7 - 1舗装復旧工事(ER4 - 71A)、道路補修工事(三輪野山・東初石1号補助幹線)の3件である。(後で菅生委員の指摘により4件に訂正、盛土造成工事(H24 - 3追加。))

倉橋委員長

随意契約にある西深井調整池雨水管補修工事は、工事担当課は河川課となっているが、雨水は下水に流すので下水道建設課が担当ではないのか。下水道建設課と河川課の区分けはどのようになっているのか。

古川課長

当工事は調整池の工事に付随するものである。調整池は河川課所管のため、当工事も工事担当課は河川課となる。

倉橋委員長

総合評価方式の入札の実施により工事成績が改善したといった効果はあったか。

深津係長

全体の成績は若干良くなっているが、大幅には改善していない。今後総合評価方式を採用した当時に行った工事の点数が反映されるため、徐々に改善されていくと思われる。

(4) 次回審議事案の抽出について

倉橋委員長

次回の委員会の審議案件として、一般競争入札については、「盛土造成工事（H24-3）」としたい。

指名競争入札案件については、「災害用井戸設置工事（2）」とし、随意契約案件については、「西深井調整池雨水管補修工事」としたいがどうか。

〔全 員 了 承〕

（5）その他

特になし

倉橋委員長

次回の平成25年度第1回入札監視委員会は、9月30日（月）午後2時30分に開催することとする。

特に質問が無ければ、以上で委員会を終了する。